

Remote Color Management[®] Service

ご使用になる前に

第八版

2021年4月1日



はじめに

この度は、Remote Color Management[®] Serviceの購入をご検討いただき、誠にありがとうございます。ご了承ください。

本書には、商品の仕様上または運用上の留意事項が記載されています。本書に記載の内容を十分にご理解いただいたうえで、ご使用くださいますようお願いいたします。

本書では、対象機種のコントローラーを総称して「Print Server」と表現します。

X-RITEは、X-Rite社の米国、およびその他の国における登録商標です。Eye-One、i1ロゴ・i1はX-Rite社の商標です。

その他の製品名、会社名は、各社の登録商標、または商標です。

本書には、富士ゼロックスブランドの商品を含みます。富士ゼロックスブランドの商品は、米国ゼロックス社からライセンスを受けている商品です。

商品提供者は富士フイルムビジネスイノベーション株式会社です。

Xerox、Xeroxロゴ、Fuji Xeroxロゴ、およびDocuColorは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

Remote Color Managementは富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

1. 対象製品

Remote Color Management® Serviceが動作する製品

本サービスを利用するにあたって、以下の項目について弊社公式サイトより最新情報を事前に確認してください。

- 対象機種およびPrint Serverバージョン一覧
https://www.fujifilm.com/fb/product/software/r_color_manage/device.html
- 動作環境
https://www.fujifilm.com/fb/product/software/r_color_manage/system.html

2. ご使用環境の留意事項

2.1 ネットワーク環境

- 本サービスをご利用の際、Print Serverをインターネットに接続する必要があります。
- インターネットに接続するための費用（インターネット接続のための回線基本料金、通信費用、必要なネットワーク工事や電源工事、電気料金、ネットワーク機器など）はお客様のご負担となります。
- お客様社内にDNSサーバーが存在しない場合は、インターネットサービスプロバイダーが提供しているDNSサーバーアドレスをPrint Serverに設定してください。
ただし、プロキシサーバーを使用し、かつプロキシサーバーのアドレスをIPアドレスで設定する場合は、DNSサーバーアドレスを記載する必要はありません。
DNSサーバー、プロキシサーバーのいずれも運用されていない場合は使用できません。
- プロキシサーバーやファイアウォールに以下の設定を行っている場合、本サービスを利用できません。
 - Remote Color Management[®] Serviceは、HTTPおよびSSL通信で80と443のポート番号を使用するため、80と443ポートが閉じている場合には、開放していただくようお願いいたします。
 - IPアドレスのフィルタリング機能を有効にしている場合（特定の相手先しかアクセスを許諾しない設定）

2.2 他のカラーマネジメントシステムとの併用について

- 本サービスを用いて色管理をする場合、他のカラーマネジメントシステムと併用すると正しい色管理ができなくなることがあります。GX Print Serverシリーズをお使いの場合は、CMYKデバイスリンクプロファイルは以下のものをご利用下さい。他社製のプロファイル作成アプリケーションで作成したCMYKデバイスリンクプロファイルをご利用になる場合は、クライアントソフトウェアでプロファイル調整をすることができません。
 - Print Serverに標準で用意されているCMYKデバイスリンクプロファイル
 - Color Profile Maker Proで作成したCMYKデバイスリンクプロファイル
 - クライアントソフトウェアに標準で用意されているCMYKデバイスリンクプロファイル

2.3 プリンター設置環境についての注意事項

- 以下の環境にプリンターを設置する場合、短期で感光体が劣化する恐れがあり、測定結果が設定目標に達しにくくなる可能性がありますので避けてください。
 - 同室にフィルム現像機など薬品を使用する機器が設置されている場所。
 - 同室で有機溶剤などを使用して製本作業などを行われる場所。
 - 温度・湿度の変化が大きい場所。
- 朝、急激な温度変化が発生し、高湿度となるような環境においては、測定結果が設定目標に達しにくくなる可能性があります。
- ファンヒーターなどの暖房器具の温風が近くにある場合、温風が機械内部に入ることによって感光体のムラが発生し、測定結果が設定目標に達しにくくなる可能性があります。

3. 測色器の留意事項

- 本サービスに使用できる測色器は、弊社プリンターのオプション品で購入したもの、あるいは X-Rite 社の正規代理店から購入したものとします。他社メーカーから購入したものは、正しく動作しない場合があります。
- 測色器をご使用の際、デバイスドライバーをインストールする必要があります。デバイスドライバーは各測色器に同梱されているもの、または X-Rite エックスライト 日本公式サイトから入手し、Print Server にインストールしてください。
- iliO 2 測色器をご使用の際、ファームウェアは、iliO Instrument Firmware v1.07 以降のものをご使用ください。バージョンが古い場合には、X-Rite エックスライト 日本公式サイトから入手し、バージョンアップしてからご使用ください。
- 使用する測色器は、測色器メーカー指定の頻度で校正を行ってください。

4. 用紙の留意事項

ご使用のプリンターで使用できる用紙のうち、キャリブレーション対象用紙に該当するものが設定できます。

ただし、色再現ターゲット（CMYK 入カプロファイル）との紙白Lab値色差が3以下になる用紙を推奨します。

5. その他の注意・制限事項

5.1 色精度について

- 本サービスは、プリンター本体自体の性能を向上させるものではありません。

5.2 カラーキャリブレーションに関する注意・制限事項

- 安定した色再現のためキャリブレーションのタイミングの運用のポイントは以下の通りです。
 - プリンター本体の電源をONした直後は、状態が安定しないため、30分ほど経過してから、キャリブレーションを実施してください。
 - 実際にプリントする用紙でキャリブレーションを実施してください。用紙毎にキャリブレーションファイルを作成し、該当用紙に適用してください。
 - 環境（温度・湿度）が安定した状態でのプリントをおすすめします。夏季や冬季の朝一番に空調設備を始動した際は、温度・湿度が急激に変化するためプリンター出力色に変化が生じる場合があります。空調設備によって温度・湿度が安定してからキャリブレーションを実施してください。室内の温度・湿度が安定する前にプリンターをご使用いただく際は、安定するまでの間キャリブレーションを複数回実施すると、出力色の変化の軽減につながります。
 - 印刷物をターゲットとしたシミュレーション印刷を行う時など、色管理を特に厳密に求める場合は、用紙を変えるタイミングでキャリブレーションを実施してください。

5.3 Color 1000 Press / Color 800 Pressへの本サービス導入について

- 使用開始時に、弊社カスタマーエンジニアによる設定作業が必要となります。詳細につきましては、弊社ホームページ、または弊社営業までお問合せください。
https://www.fujifilm.com/fb/product/software/r_color_manage/price.html

5.4 その他

- ハードディスクの損傷など、何らかの原因でPrint Serverに障害が発生した場合に備え、定期的にバックアップすることをおすすめします。Remote Color Management Serviceの運用に欠かせないデータをバックアップしておくことで、システムの再インストールが必要な場合に、速やかに復旧できます。
- 本サービスではカラーモード1のみを色管理対象にすることができます。カラーモード2/3では色管理することはできません。
- DocuColor 1450 GA PX140 Print Server U2/L2は、(カラーモード2/3セット) オプションを有効にしている場合は、本サービスで色管理することはできません。
- DocuColor 1450 GAの「1bit TIFF ダイレクトプリント」に対しては、本サービスを使用して色管理することはできません。
- Remote Color Management[®] Serviceの操作中は、セキュリティソフトのリアルタイムスキャンを行わないでください。正しく動作できないことがあります。
- Remote Color Management[®] ServiceとPrint Serverの操作は同時に行わないでください。

- 本サービスでは YMCK のみを色管理対象にすることができます。特殊トナー（クリア、金、銀等）を色管理することはできません。
- カラー管理設定を「標準設定」で運用される場合、ご使用になる機械によってはグラデーションがなめらかに再現されないことがあります。
グラデーションのなめらかさを求められる場合には、「カスタム設定」でキャリブレーションターゲットを作成してご使用いただくことをお勧めします。
「標準設定」で運用開始した後で「カスタム設定」に変更する場合には、カラー管理設定の再作成が必要になります。
- Print Serverをバージョンアップした場合、クライアントソフトウェアが正しく動作しなくなることがあります。その場合は、クライアントソフトウェアをアンインストールし、最新版を再インストールしてください。

Remote Color Management[®] Service ご使用になる前に

2021年4月1日
制作・発行

第八版発行
富士フイルムビジネスイノベーション株式会社